

備陽史探訪

第 243 号

発行の会
備陽史探訪の会

備陽史探訪の会の目的

備後を中心とした
地域の歴史を研究し、
愛郷の精神を涵養する。

(会則第 1 章第 2 条より)

備後国に久代とて如形 の大名あり

会長 田口義之

これは、落語の元祖と言われる安楽院策伝の著した『醒睡笑』の巻三、「文字知り顔」に収められた小話の書出しである。原文はこうだ(1)。

一備後国に久代とて如形の名大あり。土生といふ侍を藝州元就へ歳暮の礼義に遣れし、対面あつて出雲の国に雪はいかほとふりたるぞとあれ



宮上総介景盛肖像 (庄原市・浄久寺)

ば、彼土生手をつき雲州の雪は馬足不立にして恰鉄をのへたるがごどしと申上けり、大に気色損じ
自今以後此者使に無益とぞ。唯出雲は大雪にて馬のかよひも御座ないと申さん物を、又彼土生在郷にすむ侍なれば過半耕作などしけり。ある五月雨のはれまにすきを杖につきしづかにありく。百姓行あひいづれへととひければ、田水見行とこたふ。田の水を見にゆくといふたはまし

話の大意は、備後の国に「久代」といふ形ばかりの大名がいて、安芸

の毛利元就に「土生」という家臣を「歳暮」の使者に送ったこと。土生に対面した元就は土生に、「出雲の国の雪の様子はどうか」と尋ねると、土生は平伏して、「雲州の雪は馬足不立にして、恰も鉄を延べたる如し」と答えた。すると、元就は見ると不機嫌になり、久代に「今後この者を使者に寄越すこと無用」と言った。ただ、「出雲は大雪で馬の通いもありません」と言えばよかったものを(知ったかぶりをして元就の機嫌を損じてしまった)。

また、この土生という侍は、普段は村に住んでおり、主君の用がない時は農耕に従事していたが、ある五月雨の晴れ間に、鋤をつえにして歩いてみると、向こうから農民が歩いてきて、土生に「何処へ行かれるのですか」と尋ねると、土生は「田水見行」と答えた。「田の水を見に行く」と答えればよいものを(なまじ文字を知っているからこんな滑稽なことになる)。

土生の応答を聞いた元就の顔色が

目次

備後国に久代とて如形の名大あり

……(会長 田口義之) 1

研究レポート

福山城総構 籠城の備え II

——内能満池の意味——……(瀬良泰三) 3

調査報告

中世石造物の調査報告……(篠原芳秀) 5

史料紹介

井上家文書(12) 町在着服等之御定……(古文書部会) 7

田口義之の備後の古墳30選 8

破壊された古墳 尾上古墳…… 10

備陽史探訪の会 NEWS …… 11

事務局日誌

現在の会員数 210 名



会員数は8月上旬現在の数字です。その後の増減がありません。(いっちゃん)

紀要『備陽史研究』の原稿募集

『備陽史研究』は、備陽史探訪の会紀要です。会員の皆様が個々に調査・研究をした成果を発表する場でもありますし、後世伝えたい郷土の歴史を残す場でもあります。

国立国会図書館や広島県立文書館をはじめ、市内図書館にも寄贈しており、広く一般の研究者や歴史に興味のある地元の人の目に触れる機会も多くなります。

地道に積み重ねてきた日々の研究も、多くの方々の目に触れることができるようになって初めて意義のあるものになりますし、それを元に多くの人が議論することで、郷土史研究は更に深まります。

原稿は、随時募集しています。郷土史発展のために奮ってご応募ください。

【応募方法】

事務局宛て郵送かメール

info@bingo-history.net

〒720-0824

広島県福山市多治米町 5-19-7

備陽史探訪の会 事務局

会報「備陽史探訪」の原稿募集

会報「備陽史探訪」244号の原稿を募集中。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・イラスト・写真・俳句・随筆・昔語りなどなど会員の皆様の投稿をお待ちしております。

昭和の頃の何気ない日常の思い出話も、今では立派な歴史の証言。日本中どこを探してもないココだけの歴史情報お待ちしております！

原稿は事務局編集部まで。規定は16文字×120行以内。写真に一行コメントや100文字以内のコメントでもOK。なお、原稿は返却しませんので、必要な方は複製をお願いいたします。また、内容によって、研究レポートや郷土史探訪あるいは読者ノートなど、項目の判断させていただいたり、文字量の調整をさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

備陽史探訪の会 事務局

公式サイト <http://bingo-history.net/>
事務局メール info@bingo-history.net

事務局日誌

◇6月1日(日)「毛利輝元トークフェスに行くぞ」参加15名

◇6月18日(水)古文書解説会 参加6名

◇6月21日(土)「中世を読む」参加21名

◇6月27日(金)古文書入門講座 参加9名

◇6月28日(土)中世石造物調査 参加5名

◇6月28日(土)「大人の博物館教室」参加23名

◇7月16日(水)古文書解説会 参加6名

◇7月19日(土)「中世を読む」参加20名

◇7月25日(金)古文書入門講座 参加8名

◇7月26日(土)中世石造物調査 参加2名

◇7月26日(土)「大人の博物館教室」参加23名

びんご歴史クイズ 60

備後国衆和智氏に関する質問編

① 和智氏の祖、広沢実方はどんな合戦の恩賞として備後三谷郡十二郷の地頭職を拝領したのでしょうか？

A 石橋山の合戦 B 一の谷の合戦
C 屋島の合戦 D 備前藤戸の合戦

② 和智氏は広沢惣領家の地頭代官として備後に下向し、国人領主となりましたが、同じく広沢氏の地頭代官として備後に土着した国人領主は次の内誰でしょうか？

A 世羅郡の敷名氏 B 沼隈郡の桑田氏
C 三谷郡の江田氏 D 神石郡の木津和氏

③ 和智氏は三谷郡和智村を苗字の地として和智氏を称しましたが、その後戦国期まで本拠としたのは次の内どの山城でしょうか？

A 平松城 B 南天山城
C 旗返城 D 高杉城

④ 和智氏の庶家は備後に広く分布していますが、和智氏の「同名衆」でなかったのは次の内どの家でしょうか？

A 柚谷氏 B 安田氏
C 上原氏 D 湯浅氏